

科目	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費	
	事業名	地籍調査費（土木総務費）							
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳							
	4,508,562円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
0円		0円	0円	0円	0円	0円	4,508,562円		
主管	市民一人当たり の決算額			65円 (一般財源等ベース 65円)	単位決算額				
土 木 課	1 事業目的								
	<p>国土調査法に基づき、毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成することにより、土地に関する基礎的な情報の整備を図る。</p>								
	2 事業内容								
<p>蓮花寺地区の地籍調査を進めるため、地籍調査業務（A・B工程）に基づき、地区界の測量を行った。</p>									
(1) 主な支出科目									
		区 分	内 容				事業費		
		委託料	地区界測量				4,400,000円		
3 事業成果									
<p>一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界の調査及び面積に関する測量を行い、精度の高い地籍図と地籍簿を作成し、土地における地籍を明確にすることで地震など災害時の復旧事業を円滑に進めることが可能となり、課税の適正化にも寄与することができた。</p>									

科目	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	
	事業名	繰越明許費繰越事業					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	7,260,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		5,250,000円	0円	0円	0円	2,010,000円	0円
主管	市民一人当たりの 決算額	105円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 国土調査法に基づき、毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成することにより、土地に関する基礎的な情報の整備を図る。						
	2 事業内容 (1) 地籍調査費 蓮花寺地区の地籍調査を進めるため、国家三角点及び図根三角点を基に図根多角点の設置を行った。 また、関係土地所有者等の立会いのもと、一筆ごとの土地について、所有者、所在、地番、地目及び境界に関して確認作業を行った。						
	(2) 支出科目						
		区 分	内 容		事業費		
		委託料	地籍調査業務（D・E工程）		7,260,000円		
3 事業成果 一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界の調査及び面積に関する測量を行い、精度の高い地籍図と地籍簿を作成し、土地における地籍を明確にすることで地震など災害時の復旧事業を円滑に進めることが可能となり、課税の適正化にも寄与することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費	
	事業名	道路維持費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	249,966,327円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	81,000,000円	0円	168,966,327円
主管	市民一人当たりの 決算額	3,612円 (一般財源等ベース 2,441円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 道路や歩道がいつでも安心、快適に利用できるよう、適正に維持管理する。						
	2 事業内容						
	(1) 道路ストック点検費 市が管理する道路の利用者及び第三者の被害を防止し、効率的に修繕工事を行うため、点検を実施した上で修繕計画を策定した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	委託料		舗装点検業務		13,736,800円		
	(2) 道路維持管理費 道路利用者の安全な通行を確保するため、道路用排水ポンプ施設などの点検を行った。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		光熱水費など		1,290,271円		
委託料		清掃業務		22,038,046円			
		排水施設保守業務など		2,074,060円			
(3) 鉄道駅自由通路維持管理費 JR枇杷島駅東西自由通路の維持管理などを行った。							
ア 主な支出科目							
区 分		内 容		事業費			
需用費		光熱水費など		2,980,464円			
委託料		清掃業務、警備業務及び保守点検業務		8,521,285円			
(4) 道路維持補修費 過去に整備された路線を維持するため、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づく修繕工事を行った。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		測量業務及び設計業務		1,938,400円			
工事請負費		道路修繕工事、交通安全施設工事及び一般維持修繕工事など		191,804,621円			
原材料費		維持補修用材料		2,542,689円			

3 事業成果

道路や歩道を適切に管理することにより、年間を通じて利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。

土

木

課

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費
	事業名	街路灯費				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	55,797,989 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	55,797,989 円
主管	市民一人当たり の決算額	806 円 (一般財源等ベース 806 円)		単位決算額		
土 木 課	1 事業目的 夜間における交通安全及び犯罪の防止を図るため、街路灯（防犯灯を含む。）の設置及び管理を行い、安全で安心なまちづくりを目指す。					
	2 事業内容					
	(1) 街路灯管理費 夜間通行の安全確保及び犯罪防止のため、街路灯の管理及び修繕を行った。また、街路灯LED化一括リースに伴う賃借料を支払った。					
	ア 修繕箇所 19 箇所					
	イ 支出科目					
	区 分		内 容		事業費	
	需用費		電気代		25,926,490 円	
			自動点滅器の取替など		470,290 円	
	使用料及び賃借料		リース料		26,276,400 円	
	(2) 街路灯整備費 地元より要望があった箇所について、夜間通行の安全確保並びに犯罪防止のため、街路灯の新設工事を行った。 また、既設の街路灯については、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づき、単独支柱の更新を行った。					
ア 新設・取替内容						
区 分		内 容		本 数		
新設		街路灯（LED）設置		29 箇所		
取替		点検に基づく支柱修繕など		32 箇所		
イ 支出科目						
区 分		内 容		事業費		
工事請負費		街路灯（LED電柱共架）新設、単独支柱更新		3,124,809 円		
3 事業成果 市民の夜間通行時の安全確保及び犯罪の防止が図られ、安全で安心なまちづくりに寄与することができた。						

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	03 道路新設改良費	
	事業名	道路改良費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	58,886,058 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		15,400,000 円	0 円	0 円	0 円	15,676,958 円	27,809,100 円
主管	市民一人当たり の決算額	851 円 (一般財源等ベース 402 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 地域住民の利便性向上を図るため、道路改良を行うことにより、市道の機能を充実し、道路の安全性に配慮した道路づくりに努める。						
	2 事業内容						
	(1) 市道西田中蓮池線等整備費 歩道の機能を充実するため、水路を覆蓋化する工事を実施した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	工事請負費		歩道設置工事		43,209,100 円		
	(2) 市道流新田1号線等整備費 水場川改修事業に伴い、既存市道の移設に必要な用地を購入した。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	公有財産購入費		道路用地購入		14,441,659 円		
3 事業成果 市街地の発展のため、生活環境の向上を目指して、道路利用者が満足する道路整備を行うことにより、便利で快適に暮らせるまちづくりに貢献できた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	04 橋梁維持費	
	事業名	橋梁維持費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	49,069,488 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担 金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		20,291,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	28,778,488 円
主管	市民一人当たり の決算額	709 円 (一般財源等ベース 416 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的						
	市が管理する橋梁について、橋梁本体部材及び橋梁附属物の損傷状態を把握するために行った点検の結果と修繕計画に基づき、修繕及び改築更新等を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持する。						
	2 事業内容						
	(1) 橋梁点検費						
	橋梁の効率的な維持管理を推進するため、道路法に基づく定期点検を計画した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	委託料		橋梁定期点検支援業務		12,707,698 円		
	使用料及び賃借料		橋梁台帳システム使用料		263,450 円		
	(2) 橋梁維持補修費						
定期点検の結果を踏まえた橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事を行った。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		橋梁詳細設計業務（野田町橋）		6,969,240 円			
工事請負費		橋梁耐震補修工事（蓮花寺橋）		29,129,100 円			
3 事業成果							
橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修を行うことにより、橋梁に係る維持管理コストの縮減や平準化を行うことができ、常に良好で円滑な橋梁機能を保持することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	05 橋梁新設改良費	
	事業名	橋梁改良費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	56,918,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
22,146,000円		0円	0円	25,000,000円	0円	9,772,000円	
主管	市民一人当たり の決算額	822円 (一般財源等ベース 141円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的						
	愛知県が実施する新川圏域河川整備計画（愛知県策定）に基づいて、地域全体が連携して安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業（五条川・水場川改修事業）に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。						
	2 事業内容						
	(1) 船杓橋整備費						
	県が実施している五条川の改修に伴い、船杓橋架け替え工事を行った。						
	ア 支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			委託料	船杓橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（上部工）委託		52,000,000円	
	(2) 白弓橋整備費						
	県が実施している水場川の改修に伴い、白弓橋架け替え工事を行った。						
ア 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		委託料	白弓橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（下部工）委託		4,918,000円		
3 事業成果							
五条川・水場川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。							
また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。							



科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	05 橋梁新設改良費
	事業名	繰越明許費繰越事業				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	45,244,800 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
17,751,000 円		0 円	0 円	0 円	27,493,800 円	0 円
主管	市民一人当たり の決算額	654 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額		
土 木 課	1 事業目的 愛知県が実施する新川圏域河川整備計画（愛知県策定）に基づいて、地域全体が連携して安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業（五条川改修事業）に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。					
	2 事業内容 (1) 船枋橋整備費 県が実施している五条川の改修に伴い、船枋橋架け替え工事と埋蔵文化財の調査を行った。 ア 支出科目					
	区 分		内 容		事業費	
委託料		船枋橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく橋梁改築及び埋蔵文化財調査業務		45,244,800 円		
3 事業成果 五条川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。 また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。						

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費								
	事業名	五条川ふるさとの川管理費（河川費）														
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳														
	7,295,420 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等									
0 円		0 円	0 円	0 円	0 円	7,295,420 円										
主管	市民一人当たり の決算額	105 円 (一般財源等ベース 105 円)		単位決算額												
土 木 課	1 事業目的 国からふるさとの川モデル河川に指定を受けた五条川について、良好な水辺空間の形成を図るため、適正に維持管理を行う。															
	2 事業内容 五条川堤防の良好な景観を維持するための管理などを行った。															
	(1) 支出科目															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">委託料</td> <td>緑地管理業務</td> <td>4,070,000 円</td> </tr> <tr> <td>堤防草刈業務</td> <td>3,225,420 円</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	事業費	委託料	緑地管理業務	4,070,000 円	堤防草刈業務
区 分	内 容	事業費														
委託料	緑地管理業務	4,070,000 円														
	堤防草刈業務	3,225,420 円														
3 事業成果 河川の良好な景観を維持することにより、五条川の自然な環境特性を活かした、良好な水辺空間の形成を図ることができた。																

科目	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	
	事業名	雨水貯留施設費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	265,985,378 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		25,000,000 円	0 円	0 円	202,000,000 円	162,000 円	38,823,378 円
主管	市民一人当たりの 決算額	3,843 円 (一般財源等ベース 561 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 新川流域の都市化の進展に伴う保水、遊水機能の維持、確保を計画的に推進するため、雨水貯留施設の管理及び整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 雨水貯留施設管理費 雨水貯留施設を維持、確保するための管理を行った。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		貯留池ポンプ（6か所）電気代		1,127,343 円		
	委託料		清掃業務、保守点検業務		2,567,242 円		
	工事請負費		調整池排水ポンプ修繕工事		799,200 円		
	(2) 雨水貯留施設整備費 新川中学校に雨水貯留施設の整備を行った。						
	ア 支出科目						
区 分		内 容		事業費			
工事請負費		雨水貯留施設設置工事		261,418,300 円			
3 事業成果 集中豪雨時の浸水対策として、雨水貯留施設の管理及び整備を行うことにより、水害に強い安全・安心なまちづくりに貢献できた。							

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費						
	事業名	都市計画基本計画推進費（都市計画基本計画費）												
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳												
	6,567,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		0円	0円	0円	0円	0円	6,567,000円							
主管	市民一人当たりの 決算額	(一般財源等ベース		95円 95円)	単位決算額									
都市 計画 課	1 事業目的 今後予想される人口減少、超高齢社会の進展などの社会情勢の変化に対応する必要があるため、平成30年度に改定した都市計画マスタープランを踏まえ、用途地域、都市計画街路など、都市計画の見直しに向けた調査を行う。													
	2 事業内容 都市計画マスタープランを踏まえ、用途地域の見直しを進めるため、将来都市計画として対応すべき問題点や課題を抽出及び整理し、見直しに向けて基本方針を検討し策定した。													
	(1) 支出科目													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>現地調査、各種資料整理、問題点・課題の抽出、用途地域の変更・都市計画街路など見直し基本方針の検討及び計画のとりまとめ</td> <td>6,567,000円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	内 容	事業費	委託料	現地調査、各種資料整理、問題点・課題の抽出、用途地域の変更・都市計画街路など見直し基本方針の検討及び計画のとりまとめ	6,567,000円					
区 分	内 容	事業費												
委託料	現地調査、各種資料整理、問題点・課題の抽出、用途地域の変更・都市計画街路など見直し基本方針の検討及び計画のとりまとめ	6,567,000円												
3 事業成果 用途地域及び都市計画街路の見直しに係る都市計画手続きに必要な基本方針を策定することで、今後の用途地域等の都市計画の見直しに寄与することができた。														

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間木造住宅耐震化促進費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	3,894,715 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	2,859,762 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,034,953 円	
主管	市民一人当たり の決算額	56 円 (一般財源等ベース 15 円)		単位決算額	185,463 円 (実績件数 21 件)		
防 災 行 政 課	1 事業目的						
	東海、東南海、南海地震が同時あるいは連動的に発生する懸念が強まる中、地震発生時における木造住宅の倒壊などによる被害を軽減するため、旧基準木造住宅（建築基準法の改正された昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅）の耐震診断及び耐震改修などに要する費用を補助することにより、地震対策への取組を促進する。						
	2 事業内容						
	(1) 民間木造住宅耐震化促進事務費						
	ア 主な支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
			需用費	耐震診断等啓発チラシ作成費	202,500 円		
			委託料	耐震改修無料相談会相談員業務	29,000 円		
	(2) 民間木造住宅耐震診断費						
	ア 支出科目						
		区 分	内 容	事業費			
		委託料	民間木造住宅耐震診断業務	655,072 円			
(3) 民間木造住宅耐震改修費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅耐震改修費補助金	2,000,000 円			
(4) 民間木造住宅除却費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅除却費補助金	1,000,000 円			
3 事業成果							
地震に対しての住宅強度が判定されることにより、耐震化に対する意識の向上につなげることができた。							
また、木造住宅の耐震補強や強度不足の住宅の除却が実施されることにより、住宅倒壊の恐れが減少し、死傷者発生の抑制、避難通路の確保など、減災対策への取組を促進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	空家解体促進費補助金（空家等対策費）					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	1,200,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		900,000円	0円	0円	0円	0円	300,000円
主管	市民一人当たり の決算額	17円 (一般財源等ベース 4円)		単位決算額	200,000円 (実績件数 6件)		
防 災 行 政 課	1 事業目的						
	老朽化による危険な空家などの解消により、地域の安全・安心と良好な生活環境を確保するため、倒壊又は建築材などの飛散のおそれのある危険な空家などの解体にかかる費用を支援する。						
	2 事業内容						
	不良住宅となっている空家の解体工事を実施する空家所有者に対し、補助金を交付した。						
	(1) 補助内容						
	ア 補助件数 6戸						
	イ 補助対象 空家1棟の解体工事にかかる費用						
	ウ 補助限度額 200,000円						
	(2) 補助条件						
	ア 市内に存する1年以上使用されていない空家であること。						
イ 木造であること。							
ウ 住宅地区改良法第2条第4項に規定する不良住宅であること。							
エ 所有権以外の権利が設定されていない空家であること。							
(3) 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		負担金、補助及び交付金	空家解体促進費補助金		1,200,000円		
3 事業成果							
危険性を有した空家などを解体することにより、平時からの安全確保及び地震発生時における倒壊などによる災害を防止することができた。							

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間ブロック塀等撤去費補助金（民間ブロック塀等撤去費）							
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳							
	722,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		541,000円	0円	0円	0円	0円	181,000円		
主管	市民一人当たり の決算額	10円 (一般財源等ベース 3円)		単位決算額	72,200円 (補助件数 10件)				
都 市 計 画 課	1 事業目的								
	南海トラフ地震の発生が懸念される中、地震発生時におけるブロック塀等の倒壊による被害を軽減するため、道路などに面するブロック塀などの撤去を行うものに対し、撤去にかかる費用を支援する。								
	2 事業内容								
	撤去に要した経費、若しくは1m当たり10,000円を乗じた額のいずれか少ない方の2分の1を補助した。(上限20万円)								
	(1) 補助件数								
		件数	ブロック塀延長						
		10件	211.39m						
(2) 支出科目									
		区分	内容		事業費				
		負担金、補助及び交付金	民間ブロック塀等撤去費補助金		722,000円				
3 事業成果									
民間のブロック塀等の撤去に対し、撤去費用を支援することで、危険なブロック塀等の撤去を促し、もって災害時の被害の軽減や避難路の確保に努めることができた。									

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	雨水貯留浸透施設設置補助金（小規模雨水貯留施設費）					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	26,600円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	0円	26,600円
主管	市民一人当たりの 決算額	0円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額	8,867円 (補助件数 3件)		
都 市 計 画 課	1 事業目的 本市における雨水の流出抑制と水環境の育成を図るため、住宅等の敷地に雨水貯留浸透施設を設置する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、雨水による浸水及び冠水被害の減少につなげる。						
	2 事業内容 雨水貯留施設を設置した市税に滞納のない者に対し、補助金を交付した。						
	(1) 雨水貯留施設 1000以上の貯留容量の貯留槽を住宅等の敷地に設置した者に、1000当たり7,000円（上限1,0000、7万円）を補助した。						
	ア 設置数量						
			補助単価	件数	数量		
		7,000円/1000	3件	3800			
イ 支出科目							
		区分	内容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）	26,600円			
3 事業成果 雨水貯留浸透施設を設置することにより、大雨時の雨水流出抑制、河川や排水機場への負荷軽減、雨水の有効活用などが図れ、防災や環境に対する意識を高めることができた。							



科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	都市緑化推進事業補助金（都市緑化推進費）					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	2,992,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		2,992,000円	0円	0円	0円	0円	0円
主管	市民一人当たりの 決算額	43円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額	2,992,000円 (補助件数 1件)		
都市 計画 課	1 事業目的 身近な緑の質を高め、市全体の緑化の推進につなげるため、市民及び事業者が実施する緑化への取り組みに対し、都市緑化推進事業補助金を交付する。						
	2 事業内容 清須市都市緑化推進事業補助金交付要綱の規定により、補助金を交付した。						
	(1) 市民参加緑づくり事業 西枇杷島小学校の敷地内において、整備されてから年月が経過し荒廃した緑地について、児童らが日常的に緑に触れ合える場所として再生するため花壇を整備した。						
	ア 参加児童・保護者 107人 イ 支出科目						
		区 分	内 容		事業費		
		負担金、補助及び交付金	西枇杷島小学校PTAによる花壇整備事業		2,992,000円		
3 事業成果 市民参加緑づくり事業により、児童が緑の大切さを考えるきっかけとなり、市内における緑化を推進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費							
	事業名	清洲駅前土地区画整理費											
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳											
	62,410,850 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等						
	16,000,000 円	0 円	0 円	34,000,000 円	0 円	12,410,850 円							
主管	市民一人当たり の決算額	902 円 (一般財源等ベース 179 円)		単位決算額									
都市 計画 課	1 事業目的												
	<p>組合施行による土地区画整理事業において、低未利用地の計画的な面的整備を行い、道路、公園、雨水調整池などの公共施設の整備と土地利用の効率化を促進するため、市補助金及び都市計画道路整備の負担金を支出し、快適で良好な市街地整備を図る。</p>												
	2 事業内容												
	<p>(1) 土地区画整理事業補助金 清須市土地区画整理事業補助要綱に基づき、道路、排水路、公園用地、雨水調整池、建物移転等に対して、公共施設の整備を行うための費用として事業計画に基づき交付した。</p> <p>(2) 道路整備事業負担金 清洲駅前土地区画整理事業地内に計画されている都市計画道路清洲駅前線等を区画整理事業に併せて整備するため、国庫補助金を除いた整備費用を愛知県との協定に基づき負担した。</p> <p>(3) 主な支出科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">負担金、補助及び交付金</td> <td>清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金</td> <td>48,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>道路整備事業負担金</td> <td>14,250,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金	48,000,000 円	道路整備事業負担金
区 分	内 容	事業費											
負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金	48,000,000 円											
	道路整備事業負担金	14,250,000 円											
3 事業成果													
<p>土地区画整理事業を実施する組合へ補助金を交付するとともに、清洲駅前土地区画整理事業地内にある都市計画道路を整備するための負担金を県へ支出することにより、組合事業の推進が図られ、駅前にふさわしい都市施設の整備、土地利用増進及び有効活用、災害に強いまちづくりのための事業推進に寄与することができた。</p>													

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費
	事業名	新清洲駅北土地区画整理費				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	710,545,495円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	222,937,000円	1,400円	0円	260,000,000円	0円	227,607,095円
主管	市民一人当たり の決算額	10,267円 (一般財源等ベース 3,289円)		単位決算額		
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的					
	<p>交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物等移転補償、実施設計、整備工事などを行う。</p> <p>また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。</p>					
	2 事業内容					
	(1) 土地区画整理事業費					
	<p>整備工事、使用収益の開始、建物などの補償調査、移転補償及び実施設計などを行った。</p> <p>また、鉄道の仮線用地、仮駅舎用地等を確保する必要があることから、早期に対象となる区域の建物等移転補償を行った。</p>					
	(2) 主な支出科目					
	区 分		内 容		事業費	
	委託料		権利者等調整、確定測量、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、建物等補償調査、実施設計業務及び整備工事など（都市再生機構）		254,394,869円	
	補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費		455,852,869円	
	3 事業成果					
<p>整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、補償調査及び建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。</p> <p>また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。</p>						

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	
	事業名	繰越明許費繰越事業					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	177,769,340円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		62,861,000円	0円	0円	42,500,000円	72,408,340円	0円
主管	市民一人当たり の決算額	2,569円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額			
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物等移転補償、実施設計、整備工事などを行う。</p> <p>また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 土地区画整理事業費						
	整備工事、移転補償及び埋蔵文化財の発掘調査を行った。						
	(2) 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	委託料	整備工事（都市再生機構）		118,728,615円			
		埋蔵文化財発掘調査業務		25,466,400円			
	補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費		33,574,325円			
3 事業成果							
<p>整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、補償調査及び建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。</p> <p>また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。</p>							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費
	事業名	街路費				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	78,713,010 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	25,500,000 円	0 円	0 円	21,000,000 円	0 円	32,213,010 円
主管	市民一人当たり の決算額	1,137 円 (一般財源等ベース 465 円)		単位決算額	5,622,358 円 (都市計画道路 14 路線)	
都 市 計 画 課	1 事業目的					
	都市計画道路の除草や樹木の剪定及び防除などにより、道路環境を適正に維持し、緑と潤いを与えるとともに、通行車輛、歩行者の安全を確保する。					
	2 事業内容					
	(1) 街路管理費					
	都市計画道路の維持管理を行った。					
	ア 管理路線（14 路線）					
	助七西市場線、西清洲上条線、新清洲駅前線、鍋屋片町線、清須新川線、新川麒麟線、朝日阿原線、須ヶ口停車場線、小場塚新田線、大和町線、枇杷島小田井線、西枇杷島味鋤線、枇杷島停車場線及び枇杷島駅前通線					
	イ 支出科目					
	区分		内容		事業費	
	需用費		光熱水費など		299,013 円	
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務		17,394,280 円		
工事請負費		街路樹取替工事		590,700 円		
(2) 清須新川線整備費						
街路整備のための道路設計及び路線測量業務を行った。						
ア 支出科目						
区分		内容		事業費		
委託料		用地測量業務 道路詳細設計業務		17,205,100 円		
公有財産購入費		土地購入費		40,287,564 円		
(3) JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備事業立替金償還費						
JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備に伴う都市再生機構による立替分を償還した。						
ア 償還期間						
平成19年度から令和8年度まで						
イ 支払金額						
52,276,433 円						
ウ 支出科目						
区分		内容		事業費		
公有財産購入費		枇杷島駅前線整備事業償還元金及び償還利息		2,936,353 円		

3 事業成果

年間を通じて街路の適正な管理を行い、良好な道路環境を維持することができた。

また、清須新川線の整備に向けて設計及び用地取得を行うことができた。

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 鉄道高架費	
	事業名	新清洲駅付近鉄道高架費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	105,705,798 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		51,499,000 円	0 円	0 円	9,000,000 円	5,451,600 円	39,755,198 円
主管	市民一人当たり の決算額	1,527 円 (一般財源等ベース 574 円)		単位決算額			
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 鉄道高架整備費						
	<p>新清洲駅北土地区画整理事業地内において、仮線用地への申出を希望された仮換地について用地買収のための不動産鑑定を行った。</p>						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	役務費		不動産鑑定手数料		88,000 円		
	(2) 西市場廻間線等整備費						
	<p>将来整備する都市計画道路及び緑地地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償を行った。</p>						
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
需用費		収入印紙		40,000 円			
役務費		嘱託登記手数料		115,346 円			
委託料		物件調査及び土地評価業務		51,916,814 円			
公有財産購入費		都市計画道路等（仮線）用地購入費		19,537,532 円			
補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費		2,422,851 円			
(3) 下本町丸之内線等整備費							
<p>将来整備する道路地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償のための調査を行った。</p>							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
需用費		収入印紙		36,500 円			
委託料		物件調査、土地評価及び用地測量業務		31,498,386 円			
3 事業成果							
<p>鉄道高架事業着手のため、年度計画に沿った仮線用地を確保することで、限度額立体交差事業を構成する各事業を進捗することができた。</p>							
<p>また、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道としての用地確保ができた。</p>							

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 鉄道高架費						
	事業名	繰越明許費繰越事業												
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳												
	10,683,360円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		0円	0円	0円	0円	10,683,360円	0円							
主管	市民一人当たり の決算額	154円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額										
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的													
	<p>五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。</p>													
	2 事業内容													
	(1) 道路整備費													
<p>鉄道高架事業に伴う仮線用地に、将来整備する市道用地の測量を行った。</p> <p>ア 支出科目</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">区 分</th> <th style="width:40%;">内 容</th> <th style="width:30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>用地測量業務</td> <td>10,683,360円</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	事業費	委託料	用地測量業務	10,683,360円
区 分	内 容	事業費												
委託料	用地測量業務	10,683,360円												
3 事業成果														
<p>用地測量を行い、令和元年度以降の仮線用地の確保に向けた取得面積を確定することができた。</p> <p>また、年度計画に沿った仮線用地を確保することで清須市としての役割を果たし、限度額立体交差事業に関係する各事業者の事業を推進することができた。</p>														



科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公共下水道費	
	事業名	流域下水道関連施設費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	5,379,179 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	660,100 円	0 円	0 円	327,000 円	4,392,079 円
主管	市民一人当たり の決算額	78 円 (一般財源等ベース 63 円)		単位決算額	6,497 円 (延べ利用件数 828 件)		
上 下 水 道 課	1 事業目的 新川西部浄化センター内の緩衝緑地及び水の交流ステーションの適正な維持管理を行い、親しみやすい施設を確保する。						
	2 事業内容 環境整備事業で建設された新川西部浄化センター緑地及び水の交流ステーションの維持管理を行った。						
	(1) 利用件数						
			区 分	延べ利用件数			
			研修室 (1階)	387 件			
			多目的ホール (2階)	441 件			
			合 計	828 件			
	(2) 主な支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
	需用費		消耗品費など		28,634 円		
光熱水費			867,448 円				
委託料		新川西部浄化センター緑地除草及び水の交流ステーション清掃業務		651,000 円			
		保守点検業務		126,020 円			
		水の交流ステーション管理等業務		3,535,426 円			
3 事業成果 緩衝緑地及び水の交流ステーションを適正に維持管理することにより、親しみやすい施設を提供することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 都市下水路費	
	事業名	都市下水路等費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	30,423,982 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担 金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	30,423,982 円
主管	市民一人当たり の決算額	440 円 (一般財源等ベース 440 円)		単位決算額			
上 下 水 道 課	1 事業目的 浸水被害の解消を図るため、雨水ポンプ場及び管渠の管理、整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 都市下水路等管理費 雨水ポンプ場（6か所）及び管渠を維持管理するため、保守点検業務を始め修繕及び浚渫工事などを行った。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		消耗品費など		1,239 円		
			光熱水費		2,731,643 円		
	委託料		清掃業務など		1,124,727 円		
			保守点検業務など		5,193,488 円		
	工事請負費		維持補修工事費		2,796,200 円		
(2) 都市下水路整備費 雨水ポンプ場及び管渠の改良工事、設計を行った。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		鉄道横断管路補修設計業務		11,913,000 円			
工事請負費		古城ポンプ場自重降下ゲート電動 操作機整備工事など		6,160,000 円			
3 事業成果 雨水ポンプ場及び管渠を適正に管理することにより、水害に強い安全で安心なまちづくりを進めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費		
	事業名	都市公園費						
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳						
	159,980,731 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
	22,100,000 円	140,886 円	0 円	0 円	0 円	137,739,845 円		
主管	市民一人当たりの 決算額	2,312 円 (一般財源等ベース 1,990 円)		単位決算額	2,580,334 円 (都市公園 62 か所)			
都 市 計 画 課	1 事業目的 地域住民の余暇活動や良好な住環境の形成に資するため、公園や緑地の維持管理や整備を行い、市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての快適な都市環境を提供する。							
	2 事業内容							
	(1) 都市公園管理費 利用者が安心して利用できるよう、遊具などの公園施設の維持管理を行った。							
	ア 都市公園 (61 か所)							
	西枇杷島地区		清洲地区		新川地区		春日地区	
	12 か所		13 か所		28 か所		8 か所	
	イ 支出科目							
	区 分		内 容			事業費		
	需用費	消耗品費			142,362 円			
		光熱水費			2,715,559 円			
修繕料			1,172,680 円					
役務費	し尿汲取手数料など			2,555,860 円				
委託料	樹木剪定、除草及び清掃業務			79,192,214 円				
	遊具及び浄化槽などの保守業務			5,047,900 円				
	河川敷公園出水対策業務など			913,000 円				
使用料及び賃借料	リバーランド排水管			9,562 円				
工事請負費	フェンス修繕工事など			2,997,234 円				
(2) 都市公園整備費 西田中一号公園 (蓮池公園) の整備工事及び西田中二号公園 (松本公園) の実施設計を行った。 また、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助を用いて、老朽化した公園施設の改築更新などの工事を行うとともに、公園灯の老朽化に伴う LED 化工事を行った。								
ア 支出科目								
区 分		内 容			事業費			
委託料		設計積算業務			9,790,000 円			
工事請負費	西田中一号公園 (蓮池公園) 整備工事			33,151,800 円				
	公園施設改築更新工事、公園灯 LED 工事など			22,292,560 円				
3 事業成果 市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての都市公園の維持管理や整備を行うことにより、快適な都市環境を提供することができた。								

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費	
	事業名	児童遊園等費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	34,080,601 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担 金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	34,080,601 円
主管	市民一人当たり の決算額	492 円 (一般財源等ベース 492 円)		単位決算額	811,443 円 (児童遊園等 42 か所)		
都 市 計 画 課	1 事業目的 児童遊園・ちびっこ広場を除草清掃、樹木の剪定などにより、適正に維持管理し、安全、安心、快適な環境を提供する。						
	2 事業内容						
	(1) 児童遊園・ちびっこ広場管理費 児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理するため、除草及び清掃を実施した。						
	また、樹木の剪定、防除や遊具などの保守点検を定期的実施した。						
	ア 児童遊園・ちびっこ広場（42 か所）						
			区 分	児童遊園	ちびっこ広場	合 計	
			西枇杷島地区	0 か所	11 か所	11 か所	
			清洲地区	3 か所	8 か所	11 か所	
			新川地区	0 か所	6 か所	6 か所	
			春日地区	11 か所	3 か所	14 か所	
		合 計	14 か所	28 か所	42 か所		
イ 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
需用費		消耗品費		50,860 円			
		光熱水費		507,626 円			
		修繕料		820,240 円			
役務費		し尿汲取り手数料など		407,130 円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務		9,826,065 円			
		遊具及び浄化槽の保守業務		2,277,000 円			
		浄化槽法定検査		19,800 円			
使用料及び賃借料		児童遊園等土地借地料		17,295,580 円			
工事請負費		遊具塗装及び補修工事		2,876,300 円			
3 事業成果 児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理することで、安心、安全、快適な環境を提供することができた。							